

作成：平成 17 年 3 月 3 日

修正：平成 25 年 2 月 26 日

Web サービスについて

1. 概要

Web の正式名称は「World Wide Web」といいます。Web は、文字や絵、動画などを簡単に扱える掲示板のようなものです。紙の掲示板で情報公開するときは、管理者が用意した掲示板に情報公開者が掲示物を張ることで成立していますが、Web では管理者が用意した Web サーバに情報公開者がデータをアップロードすることで成立しています。

また、Web のデータには適度な集まりがあり、これら一連のデータの集まりを「Web ページ」と呼びます。

現在、国内では「Web ページ」のことを「ホームページ」という呼び方が主流ですが、開発者によると「ホームページ」とは「IE などの Web ブラウザを起動したときに最初に表示されるページ」という意味であり、本文書では本来の意味に沿って用語を用います。

2. 本学で行うサービスの概要

本学では Web 関連のユーザ向けサービスとして Web ページの公開（個人、課外活動団体）、汎用 CGI の提供、ユーザ自身で作成した動的コンテンツの公開サービスを行っています。

2.1. Web ページ公開

2.1.1. 個人

各利用者自身で作成した Web ページを広く、学内・外を問わずインターネット上に公開できるサービスを提供しています。Web ページ公開サービスを利用する際は「京都産業大学インターネット利用に関するガイドライン」（コンピュータガイド）を遵守してください。また、Web ページの作成方法などは「コンピュータ環境の使い方」内の情報を参考にしてください。

2.1.2. 課外活動団体（届出団体以上）

所属している課外活動団体（届出団体以上）で Web ページを公開できるようサービスを提供しています。

なお、クラブ・サークルでの Web ページ公開に関しては、「クラブ活動ハンドブック」や「コンピュータ環境の使い方」内の「課外活動団体の Web サイト公開手引き」を熟読の上、情報センターに申請してください。

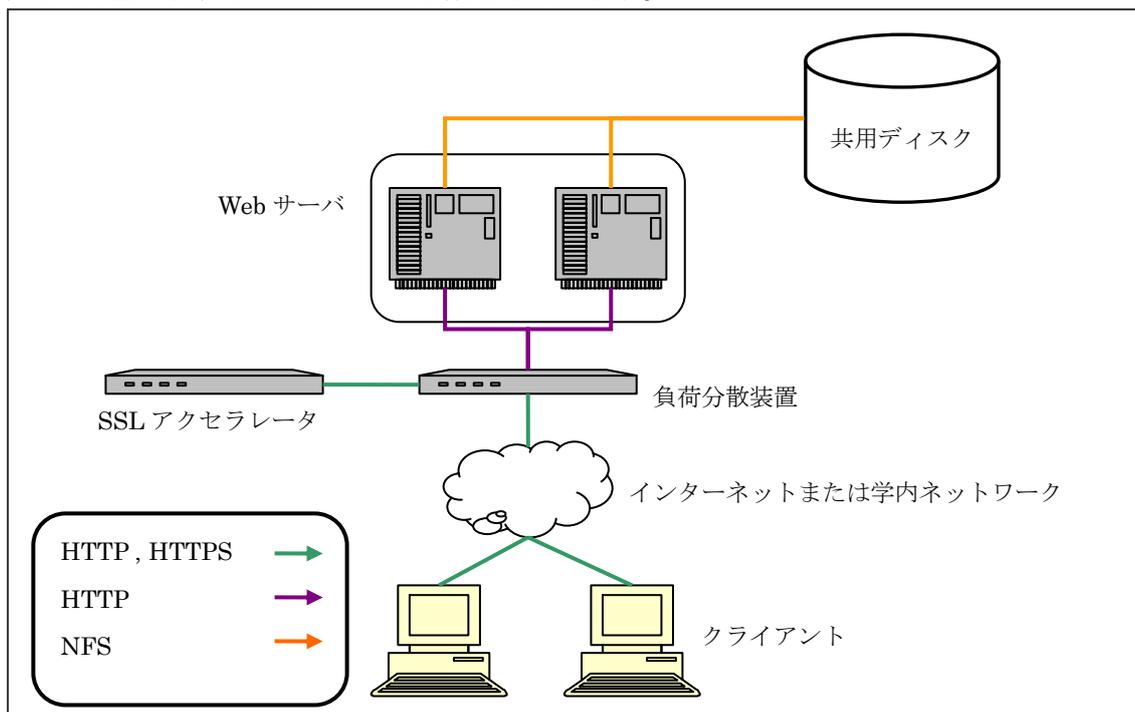
2.2. 動的コンテンツの利用

動的コンテンツとは、Web ブラウザからの要求に応じて動的に Web ページや画像などを生成する Web コンテンツのことをいいます。Web で利用する検索エンジンやアクセスカウンタなどは、これを利用しています。動的コンテンツを使えば作成者が意図するプログラムをユーザが動作可能なため、便利な Web ページを作成できる可能性を秘めています。反面、作成者がその危険性をよく理解していなかった場合にサーバをダウンさせたり、セキュリティ問題を引き起こす可能性があります。そのためユーザの動的コンテンツの使用を認めない運用を行うことも可能なのですが、ネットワーク技術とマナーを教育していくべきであるとの考えの基にユーザの動的コンテンツの利用を許可しています。

なお、動的コンテンツの利用に関しては「コンピュータ環境の使い方」内の「動的コンテンツ利用手引き (CGI、PHP)」を熟読し、理解した上で、ご利用してください。

3. Web サーバの構成

本学では下図のような Web サーバの構成をしています。



情報公開者がアップロードしたデータは、共有ディスクに保存されるよう構成しています。Web に公開できる共有ディスクの領域は、情報処理教室の Linux や Windows クライアントから操作できる状態になっており、Linux のホームディレクトリ内の public_html というディレクトリ (以下「public_html」という。) がそれにあたります。

2 台の Web サーバは、共有ディスクと NFS というプロトコルで接続され、public_html に保存されているファイルを Web ページとして公開できるよう構成しています。

ユーザが Web を閲覧しようとする場合、ユーザが利用するクライアントから送信されたリクエストは、負荷分散装置で一旦受信し、2 台の Web サーバに振り分けられます。Web サーバは、リクエストに応じた共有ディスクに保存された Web データをクライアントに返信します。

2 台の Web サーバと負荷分散装置を用いた構成により、どちらかの Web サーバが故障してもサービスに支障が出ないように対策しています。

また教育研究用 Web ページは、SSL による暗号化通信に対応しています。暗号化通信をストレスなくできるように、暗号化処理を専門に行う装置である SSL アクセラレータを介して接続する構成にしています。

このように Web サーバの負荷を軽減し、安定したサービスができるよう構成しています。

4. インターネットに Web アクセスするときは

インターネットにアクセスするときは「ネチケツト(インターネット上におけるエチケツト)」に常に気を配るようにしてください。特にネット上ではあなたの姿や表情など、普段コミュニケーションに使える手段は全く相手に伝わりません。あなたがネット上で発言した(書き込みをした)言葉が全てです。ネチケツトに少し気を配ることであなたも、あなたの言葉(書き込み)を見た相手も快適なネット環境の維持に努めましょう。

なお、「京都産業大学 インターネット利用に関するガイドライン」(コンピュータガイド)に詳しく記載されていますので、Web アクセスする前にぜひ一読し、理解しておいてください。